

Aputure®

Light  **storm**

LS 600x Pro

プロダクト マニュアル

日本語

Thank You!

Aputure Light Storm 600x Proをご購入頂きありがとうございます。
Aputure LS600x ProはBowensマウント設計のスポット系バイカラー
(2700K~6500K)LEDライトです。

LS 600x Proは多機能ライトでモジュラリティ、ワイアレスリモート
、アプリコントロール、さらに防滴、ワイアレスDMX、DCバッテリー
ーインプット、バッテリー充電とパワフルな機能が加わりました。

ご使用前の注意事項

ご使用に際して、以下の安全面にご注意ください。

1. ご使用前に使用説明書をお読みください。
2. 子供の使用または、ご使用中子供が近くにいる場合は その場から離れないようお願い致します。
3. 表面温度が高い時には、火傷に注意してください。
4. コードの破損や、器機が落下したり打撃が加わった時は、必ず専門の修理を受けてから使用を再開してください。
5. パワーケーブルで転倒、つまづいて火傷など起こらないよう 設置に配慮してください。
6. 延長コード使用の際は、ご使用のアンペア数対応のコードを お使いください。それ以下のコードを使用されると加熱の 危険があります。
7. ご使用後は必ず、コンセントを抜いてから修理、お手入れを お願い致します。コンセントを引き抜くことは おやめください。

8. 使用後は、完全に冷めた状態で保管してください。
9. 感電防止のため水や他の液体には浸さないでください。
10. 火災と感電防止のため、分解しないこと。修理は専任の担当者か、cs@aputure.comへご連絡ください。組立の不備が使用中の感電の原因となることがあります。
11. 弊社が推奨する以外の付属品使用は火災、感電、負傷の原因となることがあります。
12. ご使用の際はアースもお繋ぎください。
13. ライトご使用前に保護カバーを外してください。
14. リフレクターも保護カバーを外してからご使用ください。
15. 通気口を塞いだり、ライト点灯中は直接見ないようにお願いします。
16. LEDライトは可燃物に近づけないでください。
17. お手入れには乾いたマイクロファイバークロスをご使用ください。
18. 修理点検は必ず専任の担当者にお任せください。
19. 外部業者による補修後の不具合は保証の適応外となります。
20. Aputure ケーブルアクセサリのご使用をお願い致します。
それ以外の製品が原因となり不具合が生じた場合の修理は、実費にて承ります。
21. RoHS, CE, KC, PSEそしてFCCの認証を受けています。通常使用 範囲内でのご使用をお願い致します。適用外で発生した故障については保証外となり、修理代はお客様負担となります。
22. マニュアルは社内管理テストに基づいて作成しております。
デザイン、スペック変更の際、追加情報のお知らせは致しかねますのでご了承願います。



この使用説明書は大切に保管お願い致します。

FCCコンプライアンス

この器機はFCC規定の15条に適合し、以下二条件の下の使用を目的とする。

- (1)当器機は有害な干渉を起こさない。
- (2)当器機は意図に反する干渉を含め、すべての干渉を受容する。警告:コンプライアンス責任者の許可なく変更または改造した場合、器機の使用権利を失効することになる。

注意:当器機は、FCC規定15条のデジタル機器クラスBの承認を受け、住宅地区での使用に有害とならないよう設計されている。しかしラジオ波の発生、使用あるいは放射が起こり、規定外の設置及び使用により電波障害を引き起こすこともある。特定の設置方法で電波障害が回避できる保証はない。この為、ラジオ及びテレビへの障害が確認されたら、設置の際に電源をオン/オフしながら調整する必要がある。

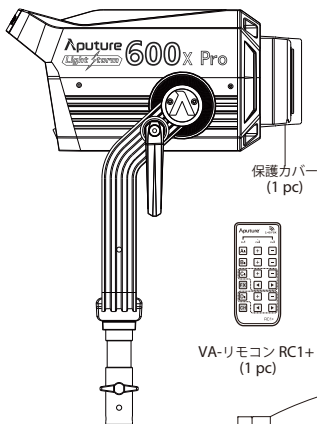
- 器機とレシーバーの距離をあげる。
- 器機とレシーバーはそれぞれ違うコンセント回路へ接続して下さい。
- ご相談は販売店又は専門員へお問い合わせ下さい。

RF 基準について:

当器機はRF基準を満たしていると評価されています。

パッケージリスト

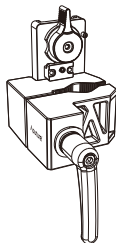
商品パッケージに以下がすべて含まれていることを確認頂き、足りない場合は販売店までご連絡お願い致します。



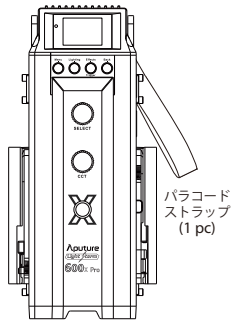
LS 600x Pro
ランプヘッド (1pc)



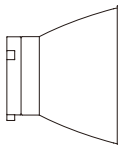
VA-リモコン RC1+
(1 pc)



ライトニングクランプ
(1 pc)



LS 600x Pro
コントロールボックス (1 pc)



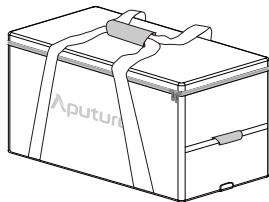
600 シリーズ
ハイパーリフレクター (1 pc)



Neutrik® powerCON AC
電源ケーブル (6m) (1 pc)



LS 600 シリーズ 5-ピン
防滴ヘッドケーブル (7.5m)(1 pc)



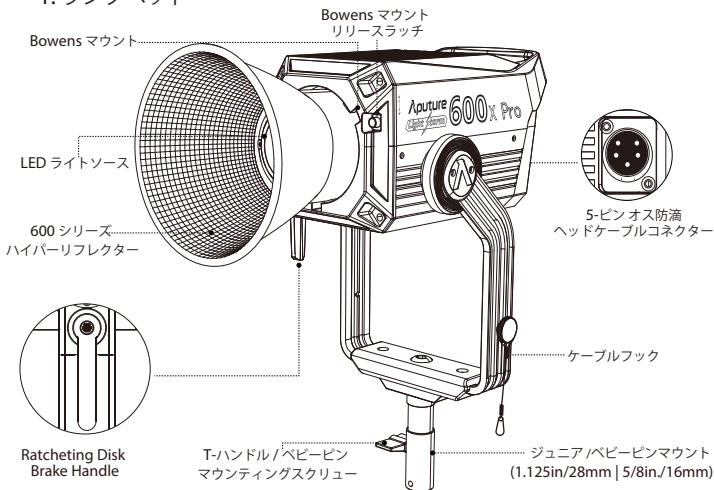
LS 600x Pro キャスター付き
キャリーケース (1 pc)

注意事項: マニュアルのイラストはレファレンスであって確認するものではありません。

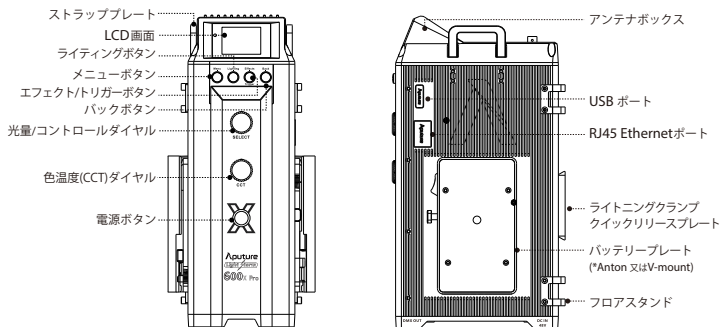
今後デザインや形が変わる可能性があります。

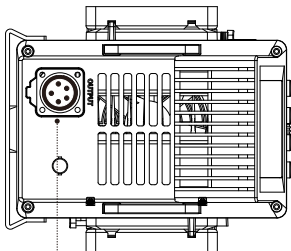
内容詳細

1. ランプヘッド

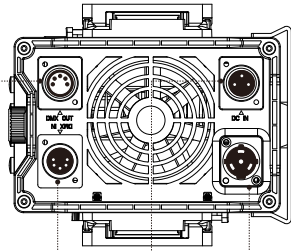


2. コントロールボックス



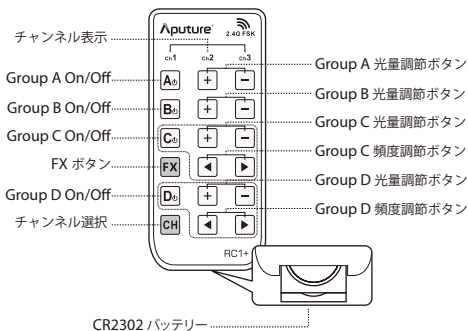


5-ピンヘッドケーブルコネクタ(メス)



DMXアウトポート DMXインポート 48V DCインポート (3-ピン XLR) Neutrik® powerCON パワーインポート

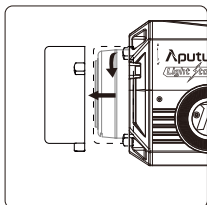
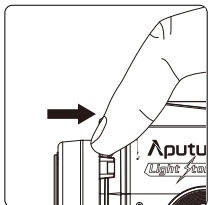
3. VA-リモート RC1+



ライトセットアップ

1. 保護カバーの取り外し/戻し方

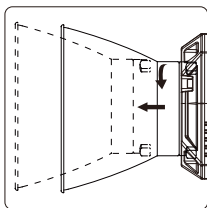
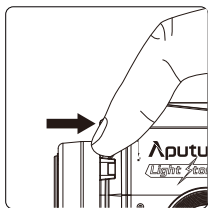
ピンを押しながら、保護カバーを右に回して保護カバーを外します。
 保護カバーを戻す時は、Bowensマウントへ差し込み左へ回します。



注意:ライト使用前に必ず保護カバーを外し、ご使用後は保護カバーを戻してください。

2. ハイパーリフレクターの装着/取り外し方

リフレクターを装着するにはリリースラッチを押しながらレフレクターをBowensマウントにはめこみ反時計回りに回します。リフレクターを取り外すにはリリースラッチを押しながらリフレクターを時計回りに回します。

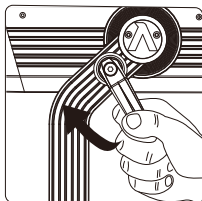
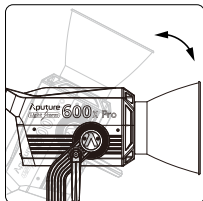
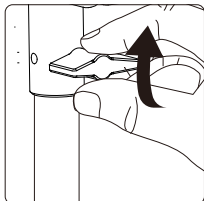


3. ランプヘッドのセットアップ

16mmスタンド(オスベビーピン)には、ランプヘッドをスタンドに取り付けてからベビーピンレシーバーのTハンドルネジを閉めて設置する。

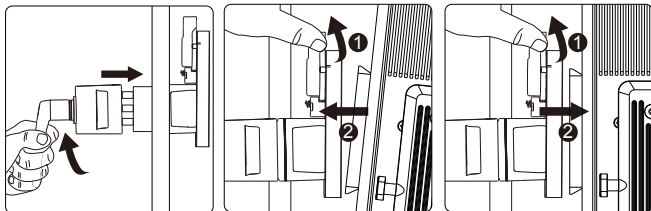
28mmスタンド(メスジュニアピン)には、ランプヘッドをジュニアピンレシーバーの中に入れてスタンドのTハンドルネジを閉めて設置してください。

ランプヘッドを上下にティルトしたい場合はヨーク横のハンドブレーキを緩めて調節します。ランプヘッドを調節する時は必ず片手で支えながら調節してください。



4. ライトニングクランプ作動方法

- 1) ライトニングクランプをスタンドに固定する。
- 2) コントロールボックスの取り付けは、リリースレバーを回してクイックリリースプレートを解除しコントロールボックスをライトニングクランプへ取り付けます。(解除レバーは自動的に戻ります。)
- 3) コントロールボックスを外すには、コントロールボックスを支えながらリリースレバーを回してクイックリリースプレートから取り外します。

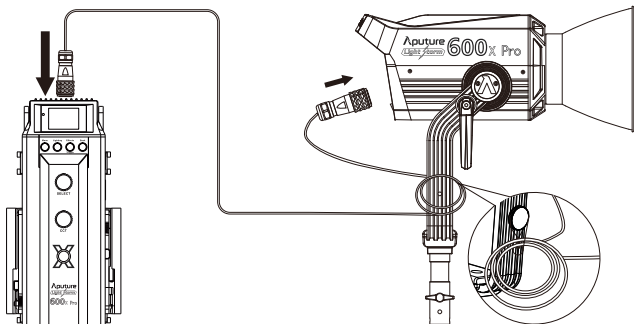


スペック

重量	670g / 1.48lbs	寸法 (L*W*H)	10.35x8.74x12.5cm / 4.07x3.44x4.92in
* ライトニングクランプは直径の2-5cmパイプに取り付け可能 2-5cm or 0.79-1.97in.			

5. ランプヘッドをコントロールボックスに接続

ランプヘッドをLS 600シリーズ 5ピン防滴ヘッドケーブルを使いコントロールボックスに接続します。

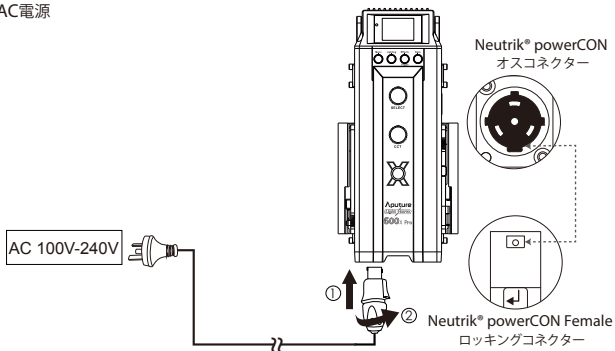


* ケーブルへの負担を軽減するためケーブルフックを使用してケーブルを吊るすこと。

* コネクターのロックを解除するにはコネクター上部ラッチを引っ張って抜くこと。

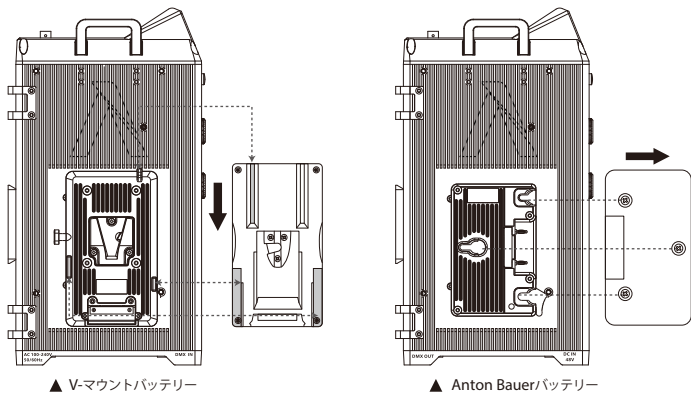
6. コントローラー接続

1) AC電源



Neutrik® powerCONケーブルの解除は、コネクタのリリースタブ(黄色/シルバー)を引いてコネクタを左に回す。

2) バッテリー運用



* 使用バッテリー：V/AB-マウントバッテリー：14.4V(7.5A)-28.8V(7.5-15A) DC入力：48V (15A) (720W消費)。
* コントロールボックスのバッテリープレートは、ご購入の際にVマウントまたはAマウントプレートを選択出来ます。

7. バッテリー充電

ディミングカーブ(調節カーブ)の設定で【Exp】または【Linear】の設定で使用する場合、光量70%以下であれば

バッテリー充電が可能です。

【Log】は光量30%以下で充電可能。

【S-Curve】は光量55%以下で充電可能です。

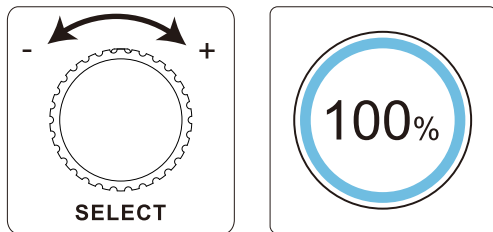
オペレーション

1. 電源ボタンを押してON・OFFにします。

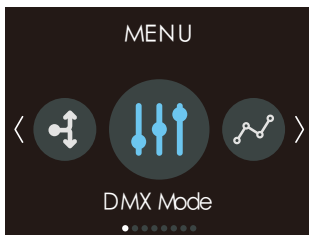


2. 手動

1) ブライツネス/コントロールダイヤルで0.1%刻みで光量調整します。
ダイヤルの回転速度で増減が変更されます。

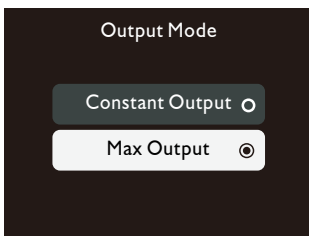


2) システムメニューに変えるにはMenuボタンを押します。
バッテリーパワーオプション・DMXモード・ディミングカーブ・ファンモード・スタジオモード・コントロールシステム・言語・アップデート・エフェクトがあります。



2.1) アウトプットモード

MENUボタンを押しコントロールダイヤルを回してOutput Modeを選択します。アウトプットモードではConstant Output ModeとMax Output Modeが選べます。Constant Output Modeでは光量を維持したまま色温度を変えれます。Max Output Modeでは色温度設定に関係なく常に最大光量を放ちます。



2.2) DMX モード

DMXモードでDMXアドレスメニューを選ぶとLS 600x Proが選択されます。

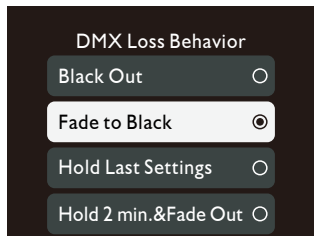
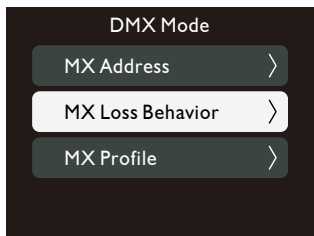
DMX Loss Behavior ではBlack Out /Fade to Black /Hold Last Setting/ Hold 2 min& Fade Out の4つの設定から選べます。

- ① Black Out — DMXシグナルが失われた時にライトが消えます。
- ② Fade to Black — DMXシグナルが失われた時にライトが60秒かけてフェードして消えます。
- ③ Hold Last Setting — DMXシグナルが失われた時に同じ設定を持続します。
- ④ Hold 2 min& Fade Out — DMXシグナルが失われた時に2分後に60秒かけてフェードして消えます。

DMX プロファイル: ダイヤルを押して Lighting 2 Channels / Effect 5Channels / Lighting& Effects 6 Channelsの3つから選択可能。

*フェードアウト時間は光量が少なくなるにつれて短くなります。光量が100%なら60秒かけてフェードアウトします。

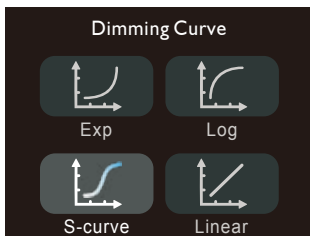
**DMXシグナルが途切れた場合、再接続された時は前と同じ設定に戻ります。



2.3) ディミングカーブ

Menuボタンを押して、System Menuに切り替えます。コントロールダイヤルを回してディミングカーブを選択します。

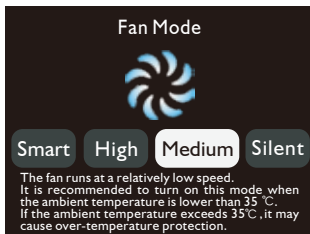
Exp・Log・S-Curve・Linearの4つのオプションからコントロールダイヤルを回して選びます。



2.4) ファンモード

Menuボタンを押して、System Menuに切り替えます。コントロールダイヤルを回してファンモードを選択します。

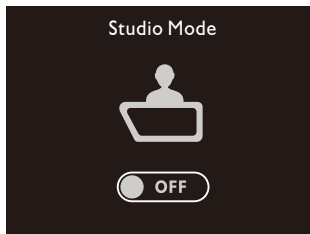
ファンモードはSmart / High / Medium / Silentから選択可能です。



オーバーヒートのサインが出たらファンモードはSmartかHighに切り替えてください。
もしランプヘッドの温度が上がり過ぎると自動的に消灯します。

2.5) スタジオモード

Menuボタンを押して、System Menuに切り替えます。コントロールダイヤルを回してスタジオモードを選択してダイヤルを押します。スタジオモードをオンにすると通電後すぐにライトがつき、オフにすると電源ボタンを押さないとライトはつきません。



2.6) フリーケンシー セレクト

Menuボタンを押して、Frequency Selectionを選択します。
ダイヤルを回して100Hzごとに周波数を変更出来ます。



2.7) コントロールシステム

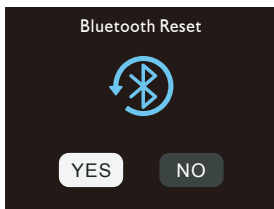
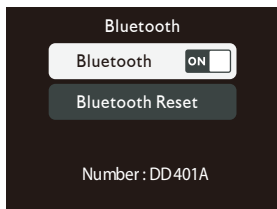
LS 600x Proは4つ方法で操作出来ます。Bluetooth / Wifi 2.4G / Lumenradio / Ethernet。
操作方法は1つしか選択出来ません。



2.7.1) Bluetooth

(1) コントロールシステムMenuからコントロールダイヤルを使ってBluetoothを選びSidus Meshコントロールを立ち上げます。

Bluetoothのオン/オフはコントロールダイヤルを押します。Bluetoothのリセットを選んでYESを押すと操作が開始し、NOでまた以前のメニューに戻ります。

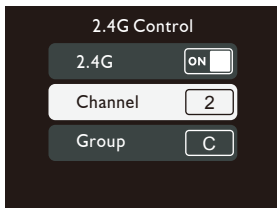


(2) Bluetooth接続後は、Sidus Linkアプリを使い、ご使用の携帯あるいはタブレットから操作できます。

Bluetoothへ接続できない場合は、[Reset Failed]と表示されライトは2秒後にはBluetoothモードへ戻ります。

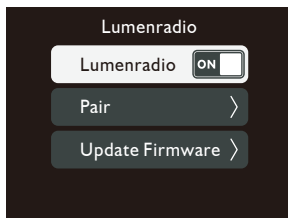
2.7.2) 2.4G Control

コントロールシステムMenuからコントロールダイヤルを使って2.4Gコントロールを選び2.4G RF FSKリモートコントロールを有効化します。チャンネルやグループ選びもコントロールダイヤルを使って 接続のオン/オフをします。RFとリモートのボタンは同一の表示です。



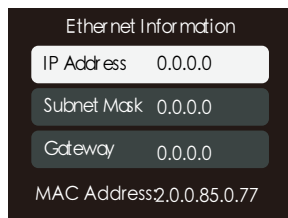
2.7.3) Lumenradio

コントロールシステムMenuからコントロールダイヤルを使ってLumenradioを選びWireless DMXコントロールを有効化します。
PairingとFirmware Update機能も同様にします。



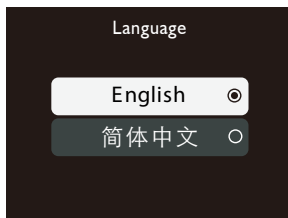
2.7.4) Ethernet

コントロールシステムMenuからコントロールダイヤルを使ってEthernetを選びEthernetを有効化します。Manual Set IPではをIPを自由にセット出来ます。Automatic Obtain IPでは自動でIPをセット出来ます。



2.8) 言語

Menuボタンを押してシステムメニューへ進み、コントロールダイヤルを回して言語を選びダイヤルを押して言語選択モードへ切り替えます。
コントロールダイヤルで、英語、簡体字中国語等の選択肢の中から言語を選びます。



2.9) 初期化

Menuボタンを押してシステムメニューへ進み、コントロールダイヤルを回してFactory Resetを選びます。Factory ResetでYesを選択すると初期化されます。

初期化すると以下の設定になります。

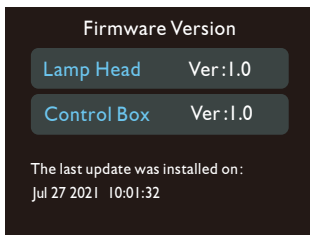
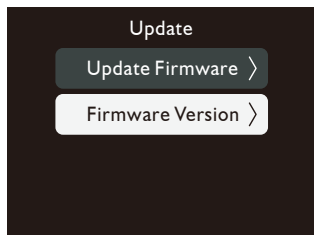
初期設定：ファンモード⇒Smart Mode / チャンネル⇒Channel 1 / グループ⇒A
エフェクト光量⇒50% / エフェクト色温度⇒5600K / エフェクト頻度⇒5
アウトプットモード⇒Maximum Output/Bluetooth⇒ON/スタジオモード⇒ON
カーブ調節⇒Linear / DMXチャンネル⇒001



2.10) アップデート

Menuボタンを押してシステムメニューへ進み、コントロールダイヤルを回してUpdateを選びダイヤルを押してUpdate画面に切り替えます。

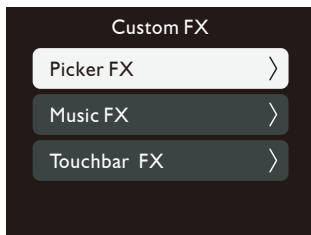
Update画面ではファームウェアのアップデートとファームウェアのバージョンを確認する事が出来ます。ファームウェアのアップデートはSidus Link Appを通して無線で行う事も出来ます。



2.11) カスタム FX

Menuボタンを押してシステムメニューへ進み、コントロールダイヤルを回してCustom FXを選びダイヤルを押してCustom FX画面に切り替えます。Picker FX・Music FX・Touchbar FXの3種類から選択出来ます。エフェクトは各10種類まで保存出来ます。

エフェクト名が【NO FX】だと保存されません。エフェクト名が【Untitled】だと保存されます。

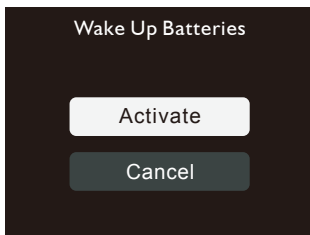
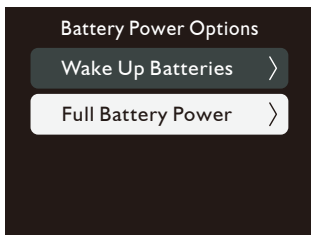


2.12) バッテリー設定

1.Battery Wake Up: Vマウントバッテリーのセーフティー機能で、ロックが掛かるとバッテリーは使えなくなります。バッテリーのロックを解除するには、バッテリー設定14.4V/26Vを確認しWake Up Batteriesを選び【Activate】を押します。バッテリーロックが解除されれば使用出来るようになります。

バッテリーが使えない場合はロック解除が出来なかった事を示します。

2.Full power output: バッテリー駆動で光量100%でライトを使うには、バッテリーアウトプットが360W必要です。2つのバッテリーで合計720Wのアウトプットが可能ならバッテリー駆動でライトを光量100%で使う事が可能です。

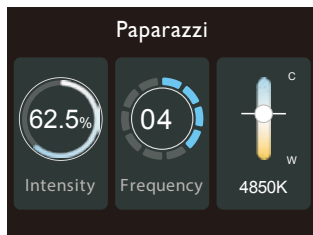


3. エフェクト

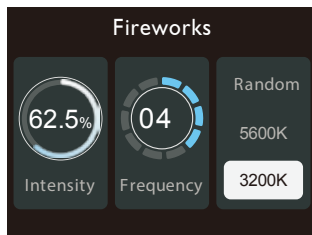
Menuボタンを押してシステムメニューへ進み、コントロールダイヤルを回してEffectsを選びダイヤルを押してEffectsモードへ切り替えます。或いは、コントロールボックスのEffectsボタンを押してもモード切り替え可能です。コントロールダイヤルを使ってライトの効果を選びます。



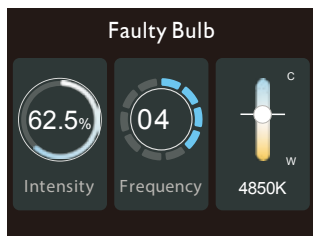
a. パパラッチ



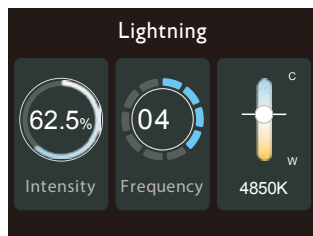
b. 花火



c. 壊れた電球

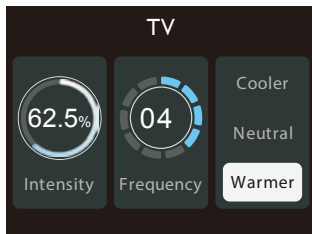


d. 雷

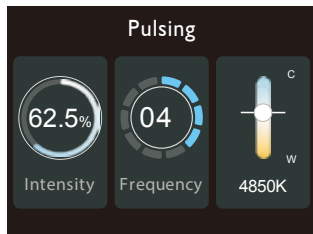


* エフェクト中にTriggerボタンを押してライティングエフェクトを発光出来ます。
Triggerボタンの長押しするとライティングのサイクルモードに切り替える事も出来ます。
戻るにはTriggerボタンを長押しして戻ります。

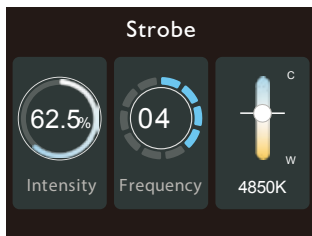
e. テレビ



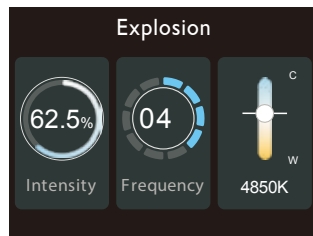
f. パルス発光



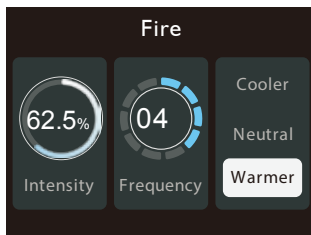
g. ストロボ



h. 爆発

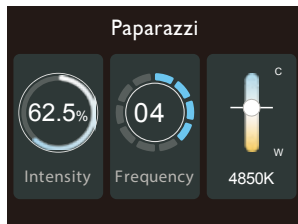


i. 炎



* 爆発のエフェクトはTriggerボタンを押して爆発をトリガーする事も出来ます。

- 1)ダイヤルを押してエフェクト光量の調節が出来ます。ダイヤルを回して光量を0%~100%に調節可能です。
- 2)ダイヤルを押してエフェクト頻度の調節が出来ます。ダイヤルを回して頻度を1~10;R に設定可能です。Rはランダムの略です。
- 3)CCTダイヤルを回してエフェクト色温度の調節が出来ます。色温度は2700K-6500Kに調節可能です。



*ライティングエフェクト中に電源が切れた場合、再接続すると前と同じ設定でスタートします。

- 4)エフェクト中でもLightingボタンを押せば普通のライト設定に戻ります。
- 5)どんな状況でもEffectsボタンを押せばライティングエフェクトに切り替わります。

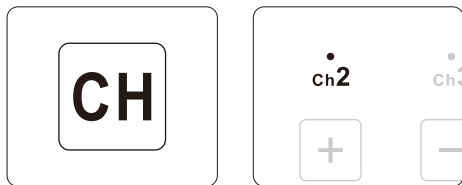
3. リモートコントロール

LS 600x Proは、どのチャンネルやグループからも操作できます。

* Light Stormライトは3チャンネル (1/2/3)と4グループ (A/B/C/D)があります。

* 光量とライティングエフェクト調整はCかDグループを使い、光量調整はAとBグループを使います。

1) リモートのチャンネル設定

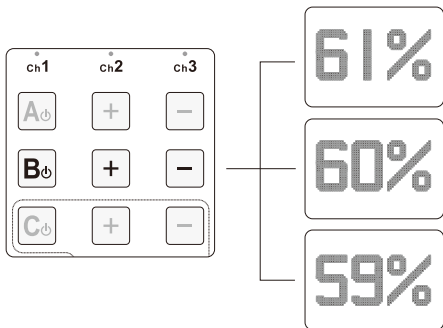


チャンネル1/2/3からCHボタンを押します。

"ch2"インディケータ

2) 光量調節

A/B/C/Dボタンを押して電源のON/OFFをします。(+) / (-) ボタンで光量を0~100%に調節します。



* リモコンはDMXモード中では使えません。

**リモコンは2.4Ghz Wireless Control Mode中にしか使えません。

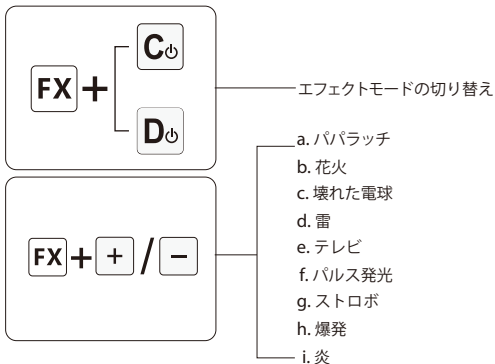
3) FX コントロール

リモコンからFXモードへの切り替えは(FX+ C) / (D)を押します。

ライティングエフェクトを変えるは(FX+ +) / (-)を押します。

光量の調節は(+/-)ボタンで出来ます。

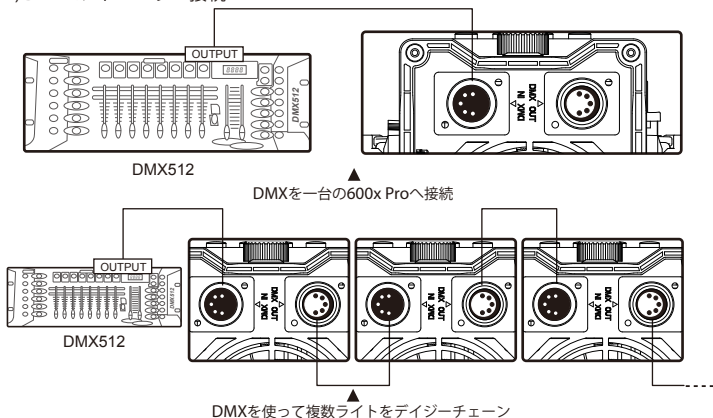
頻度の調節は(◀/▶)ボタンで出来ます。



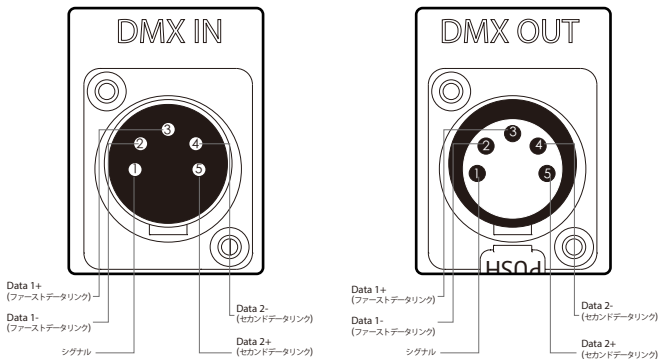
* リモコン操作でのライティングエフェクトはグループCまたはDでしか操作出来ません。

4. DMX接続

1) DMXコントローラー接続



* 下は DMX インタフェース回路図:



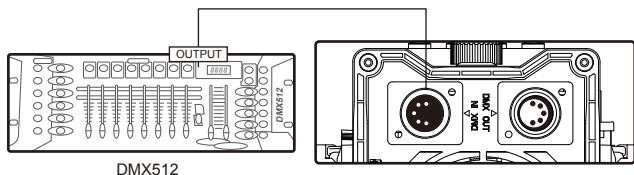
2) チャンネル選定

DMXモードではDMXコントローラーのチャンネルとライトを合わせてから選定します。

* DMXチャンネルデフォルトは"001".

** DMXチャンネルは1から512まで

5. DMXからの操作



DMX512

2) DMX チャート

モード	チャンネル	機能									
DMX Profile 1: ライティング	1	光量: 0-100%									
	2	色温度: 2700K-6500K									
DMX Profile 2: エフェクト	1	光量: 0-100%									
	2	色温度: 2700K-6500K									
	3	パバラッチ	花火	壊れた電球	雷	テレビ	パルス発光	ストロボ	爆発	炎	
	4	FRQ: 1-10/R									
	5	/	/	/	値/トリガー /ループ	/	/	/	値/トリガー /ループ	/	
DMX Profile 3: ライティング & エフェクト	1	光量: 0-100%									
	2	色温度: 2700K-6500K									
	3	ライティング<->エフェクト: 0-100%									
	4	パバラッチ	花火	壊れた電球	雷	テレビ	パルス発光	ストロボ	爆発	炎	
		FRQ: 1-10/R									
	5	/	/	/	値/トリガー /ループ	/	/	/	値/トリガー /ループ	/	

* DMXモードでは光量と頻度とライティングエフェクトはDMXコントローラーより操作出来ます。

** 複数のLS 600x Proを操作する時は5チャンネル空けて下さい。

例：ライトAがDMX 001ならライトBはDMX 006にして別々に操作します。

6. Sidus Link アプリ

Sidus LinkアプリはiOSアプリストアまたはグーグルプレイストアからダウンロードすることができます。詳細は sidus.link/app/help をご参照ください。



Get Sidus Link® App



[Sidus.link/app/help](https://sidus.link/app/help)

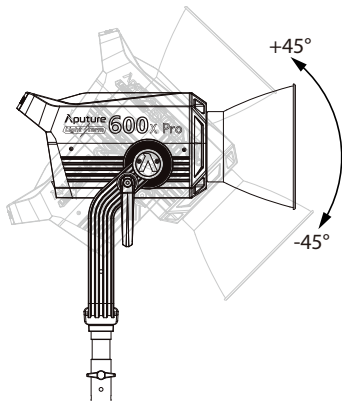
スペック

動作電流	8A	電源	100V-240V 50Hz/60Hz
消費電力	≤720W	出力	≤600W
CRI	≥96	TLCI	≥96
CQS	≥95	CCT	2700K-6500K
無線周波数	2.4GHz	チャンネル	1/2/3
グループ	A/B/C/D	対応環境	-20°C~45°C
バッテリー入力電源 電圧範囲	14.4V(12V-16.8V), 26/28.8V(25V-29.4V)	バッテリー充電 (current)	3A
対応バッテリー	14.4V-15A ≥180Wh 26V-8.5A ≥180Wh 28.8V-7.5A ≥180Wh	冷却モード	Active Cooling
操作方法	On-board,2.4GHz,DMX512, Sidus Link (Sidus Mesh TM), Art-net, Ethernet,LumenRadio	無線操作範囲 (2.4GHz)	≤100m
無線操作範囲 (Bluetooth)	≤80m	無線操作範囲 (LumenRadio)	≤100m
液晶画面	LCD (Adaptive Brightness)	IP数値	IP 20

サイズ (L*W*H)	ランプヘッド (ヨーク無し)	30.2X14.7X14.9cm/11.88*5.78*5.86in
	ランプヘッド (ヨーク有り)	30.2X43.6X24.8cm/11.88*17.16*5.86in
	コントロールボックス (Vマウント)	32.3*17.9*14.2cm/12.71*7.04*5.59in
	コントロールボックス (Goldマウント)	32.3*17.9*13.2cm/12.71*7.04*5.19in
	ライトニングクランプ	10.35*8.74*12.5cm/4.07*3.44*4.92in
重量	ランプヘッド	5.16kg/11.37lbs
	コントロールボックス (Vマウント)	4.89kg/10.78lbs
	コントロールボックス (Goldマウント)	4.89kg/10.78lbs
	ライトニングクランプ	670g/1.48lbs
	合計	19.07 kg/42.04lbs

*ランプ部分への浸水が原因で故障した場合は保証の限りではありません。

*豪雨でのLS 600x Pro使用に際しては、以下のようにランプヘッドを傾斜させることをお勧めします。



フォトメトリック

距離	色温度	1m	3m	5m
リフレクター無し	3200K	11630 (lux)	1364 (lux)	524 (lux)
	5600K	16060 (lux)	1880 (lux)	728 (lux)
ハイパー リフレクター	3200K	45300 (lux)	4010 (lux)	1426 (lux)
	5600K	63900 (lux)	5610 (lux)	1996 (lux)

* 平均値です。実際の明るさには誤差が生じることがあります。

Trademarks

BowensはBowens社が中国及びその他諸外国で登録済みの商標です。

Anton BauerはAnton Bauer社が米国及びその他諸外国で登録済みの商標です。

Neutrik®はNeutrik®社が米国及び諸外国で登録済みの商標です。